

●恒星の直徑の計算 本誌第四號第

六〇頁に記したやうに愈々吾人は昔の人の夢想だにしなかつた恒星の直徑を測定し得るまでに到着したが、マイケルソン教授の此の研究と同時に、圖らずも同じ米國のブラインストン大學ラッセル H. N. Russell 教授は星の光度の理論的研究から出發して、やはり恒星の直徑を推算したものを發表した。元來、星の直徑は其の星の實際の直徑と距離さによるもので、其の中實際の直徑は大體其の星の色から判斷するところが出来る。簡単に言へば、平均して赤い星は大きく、黄白青と移るに従つてだんだん其の大きさが減ずることを考へるのが、今日の星の進化論から見た結論である。そして又、距離については光度の強い星が近いので、其の相對に光度の弱い星が遠いのだと見ることも出来る。それ故、全体から言へば天にある星の中で、ベテルギウス（オリオン星）星とカアルデバラ（牡牛星）星とアンタレス（蠍星）星とかが色が赤くもあり光輝も一等であるから、視直徑はほゞ大きい筈だし、シリウス（大犬星）星やリゲル（オリオン星）星等は光度は強いけれども色が白青だから視直徑は余り大でない。すばるの星々は色が青し光輝も強くないので視直徑は極めて小さいと見込まねばならぬ。ラッセルの結果は

オリオン座	ア	星	0.0011
蠍座	ア	星	0.0016
十字架座	ガ	星	0.0016
牡牛座	ア	星	0.0014
ゲル座	ベ	星	0.0010

牧羊夫座	センタウリ座	ベ	星	0.0019
アンドロメダ座	ベ	星	0.0016	
南魚座	ア	星	0.0015	
魚座	元番	星	0.0014	
射手座	エ	星	0.0013	
雙子座	B	星	0.0013	
牡羊座	ア	星	0.0013	
海蛇座	ア	星	0.0013	
天蛇座	シ	星	0.0013	
秤座	U	星	0.0013	
龍座	ガ	星	0.0011	
海蛇座	ガ	星	0.0011	
雙子座	ガ	星	0.0011	
ヘルクレス座	ア	星	0.0011	
小犬座	ア	星	0.0008	
龍骨座	ア	星	0.0005	
驚犬座	ア	星	0.0003	
大犬座	ア	星	0.0003	
琴座	ア	星	0.0003	
オリオン座	ベ	星	0.0010	
センタウリ座	エ	星	0.0010	
オリオン座	ベ	星	0.0010	

が、
 此等の計算は全く理論上から來たものである
 が、ベテルギウス星の値が前述のマイケルソ

此等の計算は全く理論上から來たものであるが、ベテルギウス星の値が前述のマイケルソン

ン氏の實測値と近いのは頗る人意を強うするものと云ふべきである。

●金星と月の接近 去る二月十二日午後一時頃、金星と月とが非常に接近した。此

の日は朝から京都の空模様が好くなかつたので、天文臺の熱心家連も少々悲觀の氣味であつたが、幸ひに正午過ぎから晴れ出したので一同元氣恢復、それより十時や七時や四時の望遠鏡を開け、雲の隙間から天を仰いだ。しかし、大小の二天体が眞晝中に頗る近く並んでゐる珍現象は時々雲の間から見わたれば遂に完全な觀測は出来なかつた。（本號の口繪は當日驛いだ面々の顔描へである。）

此の日、日没頃、やはり此の金星と月とが西空高く美しく輝いてゐたのを、各地の人々が見た様子を其の後、各方面から耳にした。神戸の渡邊氏の言によれば、彼地の人々は飛行機が飛んでゐる（速く飛んでゐる雲との對照で）と言つて大騒ぎをしたといふ。又大阪の株屋連は不景氣襲來の兆だと言つて狼狽した。さ、同地の古賀氏が話してゐられた。

●同志社女學校に天文學科新設

同志社女學校は今年四月より新課程として天文學を京都大學天文臺の山本助教に依嘱することにした。之れは同校々長中瀬古氏が科學思想普及に熱心なところから始められた所以で、山本氏は亦現代の自然科學がたゞ物質的乃至功利的の方面にのみ着目せらるゝを慨し此の機を以つて科學が大に文化的思想的方面に意義の深いものであることを高調せんと抱負であるといふ。同志社の此の新施設は大に教育界の注意を惹いてゐる。